

# 牡牛座伝説の起源



ホロスコープ（西洋星占い）に出てくる星座、牡牛座の起源はギリシャ神話。

まだ神と人間が共存して暮らしていた頃、フェニキアにとっても美しい娘（王女）エウロペが住んでいました。天界から王女を見つけたオリンパスの山の主神ゼウスは、彼女に一目惚れ。自ら牡牛の姿に変身し、彼女に近づきました。エウロペが、おとなしい牡牛の背中に乗ると、ゼウスは一気に駆け出し、海を越え、クレタ島まで渡って、そこで元の姿に戻ってプロポーズしたのだとか…。

勢いあまって、天空にまで昇るほどの激しい恋。ロマンチックなお話ですね～。羨ましいっ♪♪



「戌は笑い、亥固まる、子は繁盛、丑はつまずき、虎は千里を走り、卯は跳ねる」。この格言でありながら、株価が下がる一方の昨年に続いて、どういった一年になるのか不安ですね。

牛は神様の乗り物だと言われ、農耕を守る動物。牛の性質から、辛抱強く誠実で、地に足着いた姿が開運を導いてくれるのかもしれない。今年も、どうか宜しく願い致します。

皆さんにとって、幸運がギュウッと詰まった「うっ」と「う」の一年でありますように。

春はモーすべし。

一月 睦月

今年が明けました！おめでとーい！



「50周年までカウントダウン・あと7ヶ月で50周年です」

# ロータス林のわくわく通信

初春

21年1月1日発行  
今回作成・井上祐希

今年もよろしく  
お願い致します



とあるアメリカの街。遠くになにやら牛のバルーンが見えたので「はて？なんだらう？」と近づいて確認してみること…。どうやらファミレスらしい。「子ども向けの呼び込みか？」それともステーキフェアか？？」近づいてみると、チキン専用のファミレス『Chick FEAR』。牛が持っているプラカードには「チキンをもっと食べ」と書いてあります。各国の食育には違いがあるとは思いますが、これってどうですかあ？

ファミレス「チキンフェア」



## 牛と宗教



ヒンズー教徒の多いインドでは、牛は最高神の一人シヴァの乗り物とされていて、牛を敬い、決して牛肉を食べません。

日常生活でも、牛を敬い、インドに旅行で訪れた人は「高速道路を牛が通っていて、集団が通り過ぎるまで車が待つんだ」とか、「市場に野良牛がいたよ」という話を聞いたことがあります。農耕や運搬に酷使しているのを他人に見られたら、周りの人々から集中攻撃を受けるらしいです。

1996年10月には、狂牛病を恐れたスイス政府が、23万頭の牛を処分する計画を発表するやいなや、ネパールに本部がある「世界ヒンズー協会」が、ヒマラヤで23万頭を引き取るとの書簡をスイス政府に送り話題になりました。

また、インドでは牛の糞も大事に扱われます。神聖な動物が出した糞ということで、神聖なものと取り扱われ、道で牛が糞をすると、すかさず人々はそれを拾い集めておき、大事なお客様を泊める寝室の壁などに、牛糞を塗っておくのだそうです！？！

…私は絶対にダメだな。臭くて眠れないと思います。インドには行けないです。

~The うま川 柳~

- 和牛肉 うまい話に 騙される
- 仲間かと 鼻のピアスに 牛が寄る
- モウ沢山 貧乏神と 不況風
- 恋人を ギューしてチューを してる夢
- 痩せるのだ！ ギューギューギューギュー エクササイズ



びっくり仰天！！「5本足の牛」

中国四川省、内江市人民公園動物園で「5本足の牛」が大人気をよんでいるらしいです。専門家は、遺伝子の突然変異と分析しているそうなのですが、前足が3本、後足が2本、重い体重を支えているので前が3本あれば、バランスがいいのかな？



もしも牛がブログを書いたら…

皆さん、よき新年をお迎えのこと、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、私たち牛と皆さんとの付き合いは、約7000年になります。家畜として、時には、荷物を運び、時には農耕での労力として従事し、時には牛乳で栄養を提してお役に立てている事を、何より誇りに嬉しく存じます。

でも、昨今のニュースを見ていると、ミートホープの偽装ミンチ事件だとか、O157、狂牛病、牛肉コロッケ事件、飛騨牛産地偽装など、こんなに頑張っているのに、私たちにまつわる暗いニュースには耳をふさぎたくなるばかり。拳句の果てには、私たちのゲップが温室効果ガスを急増させている大きな原因だと邪魔者扱い。

今年もモーいい加減にしてもらいたいです。

悲劇に突っ走るヒーロー『牛若丸』といえば、若くて、賢くて、一生懸命で純粋。NHK大河ドラマで、タッキーこと滝沢秀明君が演じた『義経（牛若丸）』は記憶に新しいですね。母、常盤御前（稲盛いすみ）との別れ、父、平清盛（渡哲也）の愛、武蔵坊弁慶（松平健）の敵の矢を一身に受けるような主君への思い…今思い出してもウルウルしますが、DVDで『牛若丸』って出てるんですね。

1952年の娯楽時代劇で、主演はなんと『美空ひばり』さん。歌姫美空ひばりさんが、牛若丸と、牛若丸を慕う桔梗を一人二役で熱演します。

義経伝説の中でも特に有名な、武蔵坊弁慶との五条の大橋での出会いは「You Tube」で見えますので、一度ご覧下さい。なぜか英語で字幕まで入っています。

ロマンチックな牛若丸



## BSE(狂牛病)でジョハンス農務長官アメリカンジョーク迷言



アメリカ人の発言は、本気なのか趣味の悪いジョークなのか、彼らの行動を正当化するばかりで、日本人から見ると全然笑えない時も多くありませんか？

アメリカから輸入した牛肉からBSEと診断された時の、アメリカ農務長官ジョハンス氏の記者会見はビックリしましたね。まずは長官の発言を原文で…。

「The BSE threat to humans in this country is so remote that there's a better chance you'll get hurt crossing the street to get to the grocery store than by the beef you buy in the grocery store」

米国における狂牛病の脅威っていうのはジョークありえないから、むしろ店内で買った牛肉で被害を受けるよりも、その肉を買いにお肉屋さんへ行くのに大通りを通るほうがよっぽど危険なのさ…って事ですか？？？